

目標達成計画

作成日: 平成 26年 2月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に対する理解や周知はできているものの、理念に沿った実践への取り組みに関しては漠然と且つ希薄となりつつある為、実践の中で生かされる理念作りに取り組みたい	当荘開設十周年を迎えるにあたり、初心・基本に戻る事をめあてに、理念を変更する事とし新たな理念が介護現場において現実化されるよう再構築する	①全職員で理念についての研修会を行う ②新たな理念を職員より公募する。 ③その中から意義を確認しつつ職員で理解を深めながら決定する。 ④家族会にて新たな理念に関して家族の意見を問う ⑤理念を決定し現場において現実化していく	12ヶ月
2	17	利用者の重度化に伴い、利用者本位の介護が与える介護となっている現状がある。寝たきりの方であっても、意思伝達が出来ない方であっても本人の意向を主体とした支援が出来るよう取り組みたい	心身の状態がどのような状況になっても本人本位の介護が安心して受けれるよう、また、利用者のニーズに柔軟に対応できる支援に努めていく	①身だしなみ（整容等）やオシャレ（髪型・化粧品）に関して、利用者本人の意向・意思を確認し個人の意思を尊重する。 ②一緒に買い物へ出かけ本人の好む物を選んでもらう ③意思伝達が困難な方には家族へ好む物等を尋ねる	12ヶ月
3	23	介護現場においては、業務に追われ居室等に関して隅々の清掃が不十分となっている。また、タンスの中や押し入れの中が乱雑になりやすい等の現状があり、整理整頓を確実に行っていく必要あり	本人の状態や生活動作に合わせた環境作りは勿論の事、ベットやタンスの上など細かな空間の清掃を徹底して行い、居心地の良い空間作りに努める	①タンスの上やベットの下など見えない場所への清掃を確実に行う。 ②オムツは見えない場所に保管しプライバシーへの配慮に努める。 ③タンスの中の衣類の整理整頓を心がける ④居室や共有空間の異臭への配慮。	12ヶ月